

一人一人の子どもを主語にする 学校教育の実現に向けて

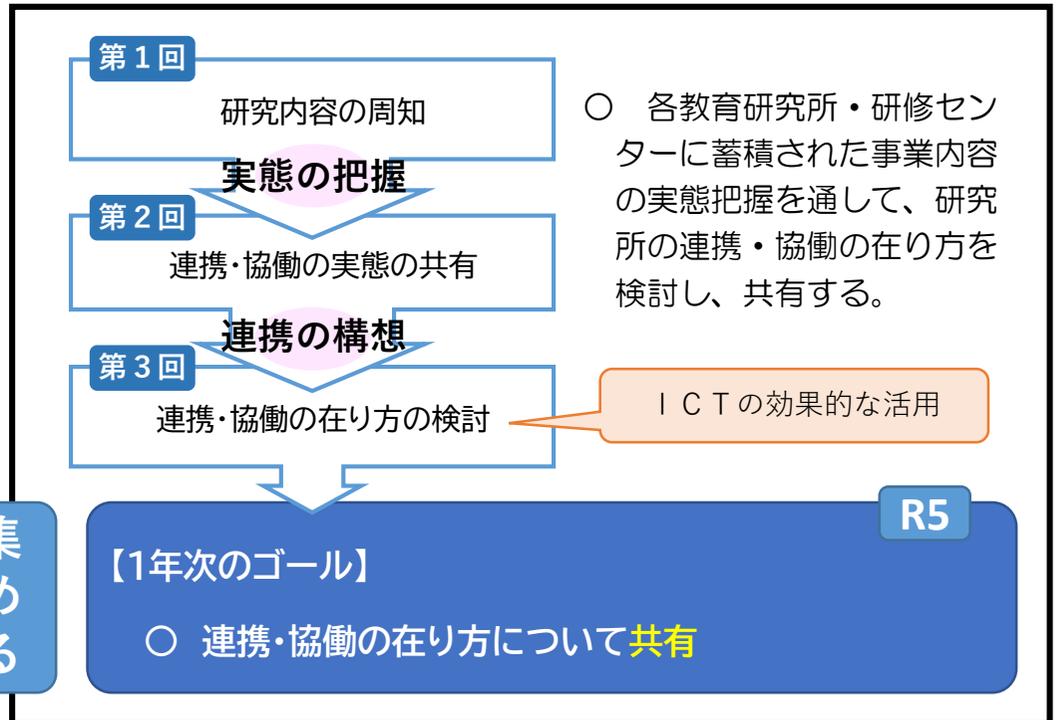
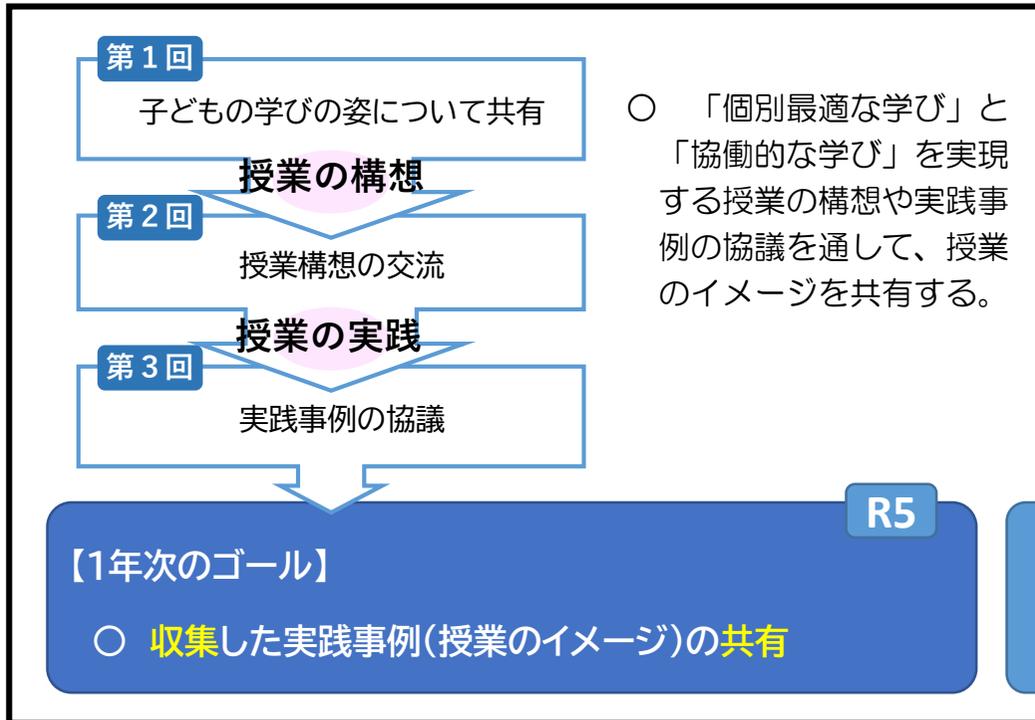
子どもの主体的な学びを
支援する伴走者として

研究内容 1

全ての子どもたちの可能性を引き出す
「個別最適な学び」と「協働的な学び」

研究内容 2

子どもの成長を支える連携・協働体制の構築



集める

磨く

広める

【2年次のゴール】

- 1年次に収集した事例の評価・改善・実践

【2年次のゴール】

- 複数の加盟機関が連携・協働した事業の実践・交流（道研連研究発表大会等）

【3年次のゴール】

- 実践事例の普及・還元（道研連Webページの掲載・リーフレット等配付）

【3年次のゴール】

- 持続可能な連携・協働体制の構築に向けた改善・普及